

問1 以下の質問に○×で答えよ。[各2点]

- ① 人工関節置換術や大腿骨頭置換術後患者の退院では、退院後の生活に対しての注意などを指導、説明する必要はない。 ☒
- ② 体性痛である表在痛は、皮膚で感じる疼痛のことをいう。 ☐
- ③ 結合組織や筋肉・骨、関節で感じる痛みは、内臓痛とされる。 ☒
- ④ 皮膚にある感覚受容器で、振動覚・圧覚を感じるのは、ルフィニ小体である。 ☐
- ⑤ 表在痛の伝導路は、内側脊髄視床路である。 ☒
- ⑥ DVT とは深部静脈血栓症のことだが、PTE とは肺血栓塞栓症のことである。 ☐
- ⑦ DVT 予防には、早期離床、フットポンプの使用、弾性ストッキングの使用が必須である。 ☐
- ⑧ 肩関節治療の最終目標は、肩関節の可動域の回復ではなく、ADL の回復である。 ☐
- ⑨ 大結節骨折＋外科頸骨折の術後の禁忌は、自動運動と肩関節の安静である。 ☒
- ⑩ 前骨間神経麻痺では、つまみ動作を行うと涙滴兆候が見られる。 ☒

問2 以下の質問の正しい答えの番号を1つ選べ。[各2点]

- 1) 前腕遠位部骨折や大腿骨近位部骨折は○○性の骨折である。
 - ① 骨粗鬆症性 ☒
 - ② 骨粗蘇症性 ☐
 - ③ 骨粗粗症性 ☐
 - ④ 骨粗鼠症性 ☐
- 2) 前腕遠位部骨折の好発年齢は、() 歳～80 歳の女性に多い。
 - ① 40 ☐
 - ② 45 ☐
 - ③ 50 ☒
 - ④ 55 ☐
- 3) 手首の背屈、手指の伸展障害がみられ、母指と示指の間にしびれがみられるとき、予想される末梢神経障害はどれか。
 - ① 正中神経麻痺 ☐
 - ② 尺骨神経麻痺 ☐
 - ③ 橈骨神経麻痺 ☒
 - ④ 腓骨神経麻痺 ☐
- 4) 直達牽引を必要とする骨折部位を選べ。
 - ① 大腿骨転子部骨折 ☐
 - ② 大腿骨転子下骨折 ☐
 - ③ 大腿骨頸基部骨折 ☐
 - ④ 大腿骨頸部骨折 ☒

- 5) 肩関節治療の最終目標となる3つの動作は、洗顔・洗髪ともう一つは何か？
- ① 結帯 ✓
 - ② 結滞
 - ③ 結代
 - ④ 携帯
- 6) 大結節骨折及び腱板断裂の手術後の禁忌動作はどれか。
- ① 自動運動
 - ② 患肢への荷重＋肩関節の安静 ✓
 - ③ 自動運動＋患肢への荷重
 - ④ 患肢への荷重
- 7) 外科頸骨折の手術後の禁忌動作はどれか。
- ① 自動運動
 - ② 患肢への荷重＋肩関節の安静 ✓
 - ③ 自動運動＋患肢への荷重
 - ④ 患肢への荷重
- 8) 肩関節の手術後、外転装具で固定された際に注意する麻痺を選べ。
- ① 正中神経麻痺
 - ② 尺骨神経麻痺
 - ③ 橈骨神経麻痺 ✓
 - ④ 腓骨神経麻痺
- 9) 剥離骨折以外でギプス固定となる疾患で間違っているものを選べ。
- ① 手術の適応されない骨折
 - ② 腱板断裂
 - ③ 乳幼児・小児の骨折
 - ④ 脱臼の整復固定 ✓
- 10) 馬蹄型歩行器を使用する患者の介助をする看護師の正しい立ち位置を選べ。
- ① 患者と歩行器の前方
 - ② 患者と歩行器の左斜め前方
 - ③ 患者と歩行器の右斜め前方
 - ④ 患者と歩行器の後方 ✓

問3 下記の説明分について()内に正しい言葉を答えよ。[各2点]

- ① 大腿骨頭は2本の(1)に栄養されているため、骨折により、動脈血流がなくなると骨頭は壊死する。
- ② 右大腿骨近位部骨折患者のベッドから車椅子への乗り降りは、(2)側からすることで、創部を圧迫しないため疼痛を軽減することができる。
- ③ 術後、CRPS(複合性局所疼痛症候群)をおこさないためには、術中及び術後(3)時間の鎮痛が重要である。

- ④ 人工股関節置換術後の看護では、鎮痛、早期離床、生活指導が重要だが、生活指導の中で、(4) 肢位について日常生活動作も踏まえ説明が必要である。
- ⑤ コンパートメント症候群を予防するために大切とされる医療行為を、安静・冷却・固定・挙上の頭文字を取って、(5) (ライス) という。

問4 以下の質問に○×で答えよ。[各2点]

- ① 大腿骨頭挿入術や全人工股関節置換術は、脱臼しないため患者指導は必要ない。
- ② 大腿骨転子部骨折に対する骨接合術後の患者の荷重は、多くの場合禁止である。
- ③ コンパートメント症候群を疑う症状は7Pである。
- ④ 全人工膝関節置換術後2日目の患者。手術中の血圧低下により、シリンジポンプによる昇圧剤の持続注入をしていたが、硬膜外麻酔が抜去後、血圧が上昇したため昇圧剤が中止となった。中止後、血圧は122/78 mm Hgのため、膀胱留置カテーテルを抜去し、ベッドサイドモニターも除去した。
- ⑤ 脛骨骨折術後14日目の患者が、松葉杖で歩行中に、廊下で知人と立ち話をしていたが、ナースステーションを訪れ、右手の背屈ができなくなったと訴えあり。手指の屈曲可能なため、橈骨神経麻痺と判断し主治医へ報告した。

以上

成人看護学方法論 5 佐伯先生 令和7年 解答

問1	① ✕	② ○	③ ✕	④ ✕	⑤ ✕
	⑥ ○	⑦ ○	⑧ ○	⑨ ✕	⑩ ○

問2	1) 1	2) 3	3)	4)	5) 1
	6)	7) 2	8)	9)	10)

問3	①
	② 左
	③ 48
	④ 禁忌
	⑤ RICE

問4	① ✕	② ✕	③ ✕	④ ○	⑤ ○
----	-----	-----	-----	-----	-----